



福祉給付金支給申請書 (はり・きゅう師用)

(あて 先) 名古屋市長

公費負担者番号		8	9	2	3	1	0	0	5			
受給者番号												
受給者の氏名 ・ 生年月日												
受給者の住所												
発病又は負傷年月日												
発病又は負傷の原因およびその経過												
明・大・昭 年 月 日 年 月 日												
施 術 内 容 欄	初 療 年 月 日		施 術 期 間						実 日 数		○ 業務上・外、第三者行為の有無	
	年 月 日		自・R 年 月 日		～至・R 年 月 日		日 日		1.業務上 2.第三者行為である 3.その他			
	傷病名		1. 神経痛 2. リウマチ 3. 頸腕症候群 4. 五十肩 5. 腰痛症 6. 頸椎捻挫後遺症 7. その他 () 付記 ()								請 求 区 分	
	初検料		1. はり 2. きゅう 3. はり・きゅう併用						円		新 規 ・ 継 続	
	施 術		1. はり						円 × 回 = 回		転 帰	
	料		2. きゅう						円 × 回 = 円		継 続 ・ 治 癒 ・ 中 止 ・ 転 医	
	料		3. はり・きゅう併用						円 × 回 = 円		摘 要	
	電療料		1.電気針 2.電気温灸器 3.電気光線器具						円 × 回 = 円			
	往 療 料		4kmまで						円 × 回 = 円			
	往 療 料		4km超						円 × 回 = 円			
施術報告書交付料 (前回支給: R 年 月分)								円 × 回 = 円				
合 計								円				
保 険 給 付 額								円				
一部負担金 (1割・2割・3割)								円				
減 額 ・ 免 除								円				
請 求 金 額								円				
* 支 払 金 額								円				
施 術 日 通 院 ○ 往 療 ◎		月		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31								
施 術 者 証 明 欄	上記のとおり施術を行い、その費用を領収しました。						保健所登録区分		1. 施術所所在地 2. 出張専門施術者住所地			
	令和 年 月 日 (〒 -)											
	登録記号番号(10桁)											
同 意 記 録	同 意 医 師 の 氏 名		住 所		同 意 年 月 日		傷 病 名		要 加 療 期 間			
					令和 年 月 日							
申 請 者 委 任 欄	上記の療養に要した費用に関して、医療費の支給を申請し、その受領をはり師・きゅう匠師(代理人)に委任します。											
	令和 年 月 日 (〒 -)											
	申請者 住 所 名古屋市長 様 氏 名 電 話											
本 人 申 請 欄	上記の療養に要した費用に関して、医療費の支給を申請します。											
	令和 年 月 日 (〒 -)											
	申請者 住 所 様 氏 名 電 話											
備 考							振 込 先 金融機関		届出のとおり			

[記入上の注意]

1. 施術内容欄の傷病名、初検料の施術内容については、該当する項目を○で囲んでください。
2. 「摘要」欄は往料を必要とした理由、施術に関する特記事項等を記入してください。
3. 「傷病名」の「付記」には、施術部位を記載してください。
4. 委任支払方式をとる場合は「本人申請欄」を抹消し、市町村に直接支給申請する場合は「申請者委任欄」を抹消してください。
5. 傷病の原因が第三者の行為によるものであるときは、この申請書に「第三者による被害届」の写しを添付してください。
6. 同意書、診断書により支給が可能とされる期間を超えた申請については、医師の同意書の写しを添付してください。
7. 初療の日から1年以上経過しており、かつ1月間の施術を受けた回数が16回以上の場合は、この申請書に「1年以上・月16回以上施術継続理由・状態記入書」の写しを添付してください。
8. 施術報告書交付料を支給申請する場合は、施術者が記入した施術報告書の写しを添付してください。また、一連の施術において既に施術報告書交付料が支給されている場合は、直前の当該支給に係る施術の年月を記入してください。
9. 「*支払金額」の欄は市町村が記入するため、未記入としてください。